

日本共産党 前杉並区議会議員

X(旧 Twitter) ID: @akikocurry



のがき 野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2024年12月号

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

区立施設マネジメント計画の修正(案)

旧天沼会議室別館、旧若杉小跡地の活用にご意見を

杉並区の総合計画・実行計画や区立施設マネジメント計画は3年ごとに改定され、必要に応じて年度ごとに修正を行います。

区立施設は住民の声を活かした活用を

今回は、区立施設マネジメント計画の中で、旧天沼会議室別館、旧若杉小跡地で暫定的に運営している「さざんかステップアップ教室」と「重症心身障害児通所施設わかば」についての修正案が出されています。

旧天沼会議室別館

昭和41年に建築された旧天沼会議室別館は、老朽化により来年度解体される予定です。現在は区の物品置場としていますが、解体後の跡地活用については地域の声を聞きながら今後検討とされています。

天沼・本天沼地域の区立施設について区と懇談してきた利用者の会のメンバーは、ゆうゆう天沼館が9月末に廃止されたこともあり、「コミュニティふらっと本天沼は高齢者施設とは言えません。あまり広くない天沼別館ですが近隣は高齢者が多いのではないかと話しています。

さざんかステップアップ教室

旧若杉小の3階にある「さざんかステップアップ教室・荻窪教室」は不登校の児童に個別学習や小集団での創作・体験活動、

個別の心理相談などを行っています。

現在天沼中学校に併設されている同「天沼教室」と一緒に、改築後の天沼中学校に併設します。

「わかば」は下井草に移転

旧若杉小の1階にある「わかば」(上写真)は、重度の身体・知的障害児のための通所施設です。2027年度に旧定期利用保育施設下井草(下井草4-21-9、昨年度末に廃止)の跡地に移転します。

パブリックコメントの送り方

各計画の修正と意見募集については、12月5日付の広報すぎなみ臨時号にも掲載し、区内全世帯に配布されています。

修正案の全文は区ホームページの他、区役所、区民事務所、図書館で閲覧できます。

パブリックコメントの提出期間は1月6日まで。ホームページ(下記の二次元コードから)、閲覧場所、郵便、FAX、メールで受け付けています。



女性の選択肢が保障される杉並区に向けて 一般質問

11月20日、党区議団は一般質問を行い、区民アンケートに寄せられた女性たちからの声を杉並区に届けました。

低所得等の妊娠への初回受診費用の助成が実現!

結婚や出産は個人の選択の自由であり、自分の人生を自分で決める大切な基本的人権です。



しかし、女性たちが結婚・出産・子育てに対し諦めや絶望を抱えていること、子どもを欲しいと望んでも経済的理由から選択できない女性がいることに対し、区はどう支えていくのかと質しました。

また、個人の尊厳と権利を尊重し、女性の多様な生き方と選択肢を保障する自治体であることを目指し、広く区民にアピールして欲しいと要望しました。

区長は、指摘された社会状況について、区としても強い課題意識を持っていること、新たに設置するジェンダー平等審議会の中で、困難な問題を抱える女性への支援についてもテーマの一つとして考えていると答弁しました。

妊娠・出産費用への支援を

昨年度から国民健康保険の出産育児一時金が50万円に引き上げられましたが、厚労省によると、東京では検診等も含む平均出産費用は72万円超となっています。費用と一時金との差額に10万円を助成している自治体もあり、杉並区でも助成金を早急に創設することを求めました。

妊娠判定のための受診は、経済的理由やDV、未成年などの理由から控えてしまう

方もいるのが深刻な実態です。出産する・しないも含め相談に乗り、フォローすること、妊婦判定の受診料の助成を行うことを求めました。

区は、制度がないことが課題だったと認め、低所得等の妊婦への初回産科受診費用の助成制度を創設し、年内を目途に実施すると答弁しました。

緊急避妊薬の周知について

性暴力やDVによる望まない妊娠の恐れがある方に対し、緊急避妊に関する情報提供をと要望しました。区は緊急避妊薬を試験的に販売している薬局等の情報をHPでわかりやすく案内すると答弁しました。

生理用品の無料配布をさらに

生理用品の無料配布の拡充についても要望すると、教育部門も含め全庁的に連携し向き合う、と前向きな答弁でした。

区の支援を拡充させよう

現役世代の賃金が上がらないもとの、妊娠や出産を望む女性を支援、生理の貧困を解決することが求められています。女性の健康と権利について真剣に向き合っていくという区の姿勢は大変重要です。

女性たちから寄せられた声の一部

- 賃金が上がらないのに、子どもを産み育てることまで考えられない
- 女性のキャリアや家事負担、学資ローンや色々なことを真面目に進めていくと、子どもを産むことや結婚が負債にしか思えない
- まだ独身・子なしですが、満足な貯金できてからでないと、結婚や出産が苦しいだけだと思うでの希望が持てません

鉄道連続立体交差事業と駅周辺の事例視察へ区民と

高架・地下を実際に見て理解を深める

10月26日、杉並区は「第5回下井草まちづくりラボ」を開催し、鉄道連続立体交差化における駅前広場やロータリー等の駅周辺の状況やまちの将来像をイメージするため、視察を行いました。

当日は朝8時半に井草地域区民センターに集合し、大人10名、子ども1名と区職員、ファシリテーター1名がバスで視察に出発しました。

高架化の事例／西武池袋線

西武池袋線の練馬高野台～大泉学園駅間は平成28年に高架化され9つの踏切が解消、3本の都市計画道路が交差しました。

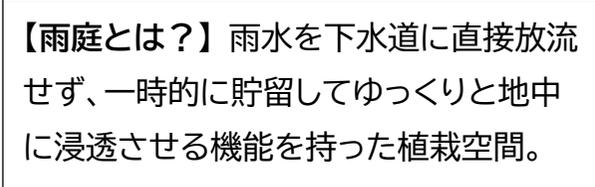
高架下の土地活用では、駐車場や駐輪場、スーパー、保育施設等に限られ、利用されない土地も多くありました。

地下化の事例／小田急線

小田急線の代田橋～東北沢駅間は複々線を上下2段に地下化したことで、買収や立ち退きがほとんどなかったそうです。雨庭広場や個性的な商業施設など、十分に検討されたと思われる跡地活用の状況も確認できました。



【下北沢駅「駅前広場」(整備中)】



【雨庭とは?】雨水を下水道に直接放流せず、一時的に貯留してゆっくりと地中に浸透させる機能を持った植栽空間。

都、世田谷区、地元住民と鉄道事業者がしっかりと連携できた事例として、西武新宿線の野方～井荻間の連続立体交差化の参考にできる可能性があります。

参加者からは、「下井草まちづくりや、中野区3駅のまちづくりと連続立体化にはまだ検討すべきことが残っていると思う。課題と検討事項を来年度に正しく引き継ぐために、年度内に追加のラボの開催を希望したい」との声が寄せられました。

※視察の写真は杉並区公式サイトより
※第5回の記事は視察参加者から寄せられたレポートと杉並区の資料を基にしています。

商業・鉄道連立など課題解決に向け

第6回目は11月30日に開催され、今年度の活動の振り返りや来年度に向けたグループワークを行いました。

最初に動画を使って、前回の地下化・高架化の事例視察の報告がありました。

参加者は、道路交通、商業にぎわい、み



【石神井公園駅付近「高架橋及び側道」】

どり住環境、その他(鉄道連立で地下化を)のグループに分かれて、関心がある理由、課題解決に向けて調べたいことや学びたいこと話し合って模造紙にまとめました。

地下化を求めるグループで話し合い

私は「鉄道を地下化にし、公園や緑地をつくる」と書き、地下化を求めるグループに入りました。理由としてCOP29の課題や神宮外苑でも問題の樹冠率、みどりの癒し効果、防災対策などを語りました。

地権者からは、地下化で跡地利用の可能性が広がるとの意見が。事例視察の報告でも高架化の跡地利用は限定されていたので、とても共感しました。既に地下化された京王線の調布駅のことを書いた本も紹介してくれました。

ファシリテーターからは、地下化された下北沢駅周辺での住民の活動の話がありました。一方で、収益のある跡地活用を考える必要があるのではとも言われました。私は、鉄道会社の儲けだけでなく地域の意見や需要が大事だと思い、住民の声を聞くためのアンケートなどを実施することが必要だと提案しました。

他のグループの提案・意見

その後、参加者は他のグループの提案を見て説明を受けたり、自分の意見や提案を

模造紙に追加したりして交流しました。

道路交通のグループは、旧早稲田通りを安全に通行できるように一方通行化、歩行者天国などの思い切ったアイデアも出されていました。

来年度も継続した取組に

今年度の開催はこれで最後になりますが、参加者からは「課題と検討事項を来年度に正しく引き継ぐ為、年度内に追加のラボの開催を」との声が寄せられています。

取組を共有するため、区は2月にオープンハウスを行います。ぜひご来場ください。

◆子育て世代向け

2月12日(水) 午前9時～12時

子ども・子育てプラザ下井草

◆地域向け

2月15日(土) 午後1時～4時

下井草駅南口・駅前広場



【あきりの部屋】

先日、祖母に会いに埼玉にある特養ホームに行ってきました。関東大震災の年に生まれた101歳です。コロナ前に会ったきりなので久しぶりの面会でした。

私のことはだいぶ前から誰だか分からなくなっていて、もう話はできなくなってしまったのですが、顔を見たら何か喋りたかったのか口をモゴモゴ感じて、手を握ったり話しかけたりしてきました。

別れ際に、いつまでも元気でいて欲しいと思いながら手を振ると、祖母も右手を振って笑ってくれました。

